

暑中お見舞い申し上げます

今年の夏は6月末からの猛暑に始まり梅雨明けも特に早く、体力消耗との闘いが求められているように感じます。皆様もどうぞご自愛ください。

事務所では劇場・ホールの改修・更新に関わる業務を中心としながら、全国公立文化施設協会から毎年要請のある「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」という活動などにも支援を続け、ほどほどに忙しくしております。

感染症への不安から控えていた長距離移動を伴う出張等も少しずつ再開して、徐々に通常に戻りつつ良いペースで仕事を続けていきたいと考えております。

A.T.Network 代表 近江 哲朗

おかげさまで30年

1992年夏に開設したA.T.Networkはこの夏に30周年を迎えることができました。自宅でスタートして数年、熊谷文化創造館「さくらめいと」の仕事をきっかけに渋谷で事務所を立ち上げ、以降そのマンションの中での引っ越しが1回ありましたがその後移転することもなく現在に至っています。

8月1日は創立記念日でしたが、特に休日とはせず通常通りに事務所で30周年を迎えました。

この30年で多くの人々、多くの劇場・ホールと出会い、多くの経験・蓄積を得ることができました。それらを活かしながら今後も業務を継続して参ります。

本来ならば記念パーティーでも開催しようかとも考えていたところですが、昨今の社会的状況や自粛ムードに配慮して、特にイベントのような開催は行わず静かに今後に向けての準備を進めて参ります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

文化庁委託事業 支援員の派遣 山口市市民会館

最近毎年支援員の依頼を受けて各地の劇場・ホールを訪ねています。

山口市市民会館は令和2年度に公立文化施設協会に支援員の派遣を要請して、私にも令和2年度に依頼がありましたがコロナ渦で思うように出張ができず先送りが続き、令和3年度になってようやく実施できました。

山口市市民会館は開館して50年を迎えた長寿な施設で、今後どのように考えるべきか山口市内部でも検証される中でのサポートとなりました。

50年を経た施設の更新・改修には大きな費用と時間が必要とされます。思い切って改築するという判断もありながら、更新・改修を考えるには根本治療的な更新・改修までしっかり行うべきか、対処療法的に現状の不具合などに限定して延命的処置とするか、とても悩ましい選択をしなければなりません。

資料提供や協議を行いサポートは終了しましたが決断のためにもう少し個人的には支援したいと感じています。



写真-A. T. Network

編集後記 (近江)

ワクチン接種を4回終えました。幸い発熱はなく接種箇所
の痛みと約一週間のしつこい倦怠感で済みました。

この夏で66歳になりますが、特に目立った体調不良も
なく無事に過ごせていることは幸せなことと感じています。

お知らせ

出勤と在宅の併用にすっかり慣れてしまいました。そこで
この夏も特に夏季休暇は設けずに個別に休暇を取得するよう
考えております。多少出張機会も増えつつ、留守も多くなる
かと思います、ご了承ください。